

第十八回

武田の杜 新能

能巴

ともえ

佐久間二郎



狂言	仕舞	仕舞
大藏	兼 <small>かね</small>	木 <small>き</small>
教義	附 <small>ぶ</small> 観世喜正	観世喜之
	子 <small>す</small> 平 <small>ひら</small>	曾 <small>そ</small>

令和6年 5月18日(土) 午後5時開演(午後4時開場)

■場 所 武田神社能楽殿(甲陽武能殿)
山梨県甲府市古府中町2611

■入場料 正面特別席 10,000円 (お土産付※限定席数)
全席指定席 正面席 8,000円
中正面席 7,000円
脇正面席 7,000円

チケット発売:令和6年3月30日(土)~

お問い合わせ・お申し込み
武田の杜新能実行委員会 TEL.055-252-2609
佐久間二郎 TEL.042-316-4860
メール takedanomori.takigino@gmail.com

■主催 武田の杜新能実行委員会
■後援 山梨県・やまなし観光推進機構・甲府市観光協会・山梨県中小企業団体中央会・甲府商工会議所・山梨放送・テレビ山梨
エフエム富士・山梨日日新聞社・山梨新報社・讀賣新聞甲府支局・毎日新聞社甲府支局
■協力 観世九臈会・武田神社・武田神社崇敬会 ■会場設営管理 長田組土木株式会社

清め祓い・火入れ式

解説 本日のみどころ
佐久間二郎 大藏 教義

仕舞 木曾 観世 喜之
兼平 観世 喜正

狂言 附子
シテ(太郎冠者) 大藏 教義
アド(次郎冠者) 榎本 元
アド(主人) 上田 圭輔

～休憩二十分～

能 巴
シテ(里女/巴御前の霊) 佐久間二郎
ワキ(旅僧) 野口 能弘
アイ(所の者) 大藏 教義
笛 一噌 庸二
小鼓 鳥山 直也
大鼓 柿原 弘和

※都合により出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

午後7時20分頃 終演予定

『附子』(ぶす)

所用あって出かけることになった主人(アド)は、太郎冠者(シテ)と次郎冠者(アド)の二人を呼び出すと「これは附子《ぶす》と呼ばれる大毒であるから、決して近づかないように」と強く言い聞かせ、二人に留守番を言いつけると外出していく。主人の言うには、附子の方から吹く風に触れただけで命を失ってしまうほどの猛毒とのこと。ところが、その異様な代物に深く興味を覚えた二人は、ついにその中身を覗いてしまう。見れば何やら美味そうな物が。やがて太郎冠者は、あろうことかその附子を食べてしまう! 果たして『附子』の正体とは……?

『巴』(ともえ)

粟津の原に立ち寄った旅僧が琵琶湖の景色を暫し眺めていると、どこからともなく一人の里女が現れ、湖畔に祀られている神の社の前で一人涙にむせぶ。その様子を不思議に思った僧が理由を尋ねると、女は、これこそ木曾義仲を神と祀りし社であると語り、同国の縁で義仲の霊を慰めてほしいと頼む。やがて日は落ち、晩鐘の音が冬の琵琶湖に冷たく鳴り響くと、女は、実は自分も亡者であると僧に告げ、夕闇の草陰にその姿を消す。先刻の女は、もしかしたら巴御前の亡霊かも知れないと感じた僧は、夜もすがら経をあげると、そこへ巴御前の亡霊が現れ、愛した義仲に最後まで付き従うも、女であるがゆえに共に死ぬことを許されなかった無念を語る。続いて、義仲が源氏の軍勢に追われ、ここ粟津の原にて最期を迎えた様子を語り、結局、共に自害を遂げられず、義仲の遺した形見の品を携え一人落ち延びていった悲しさを述べると、重ねての回向を頼み消えていく。平家物語『木曾最期の事』を典拠に作られた能。平家緒本では、義仲の最期に従ったのは、乳兄弟である『今井兼平』となっているが、本曲はそれとは異なり、義仲が自害し、それを巴が見届けたと言う設定になっている。『木曾義仲』本人を舞台に登場させず、死した巴の亡霊が自身の立場から古の戦物語を再現するという手法は、能ならではの巧みな表現と言える。



観世 喜之
(かんぜ よしゆき)

観世喜之家(矢来能楽堂)、観世九阜会当主。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。平成14年度文化庁芸術祭優秀賞・平成17年日本芸術院賞受賞。武田神社能楽殿「甲陽武能殿」を命名する。



佐久間二郎
(さくま じろう)

甲府市生まれ。3歳で能面に興味を持ち、能楽師を志す。高卒後、観世喜之師に師事。東京・山梨に「謡曲・仕舞」の稽古場を持ち、能楽の普及に努めている。平成29年8月「こうふ開府500年カウントダウンイベント500日前」で武田神社能舞台にて祝賀の能を演ずるなど、県内での能楽活動も精力的に行っている。(公社)観世九阜会所属。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。山梨県立大学非常勤講師。

■鑑賞にあたってのお客様へのお願い

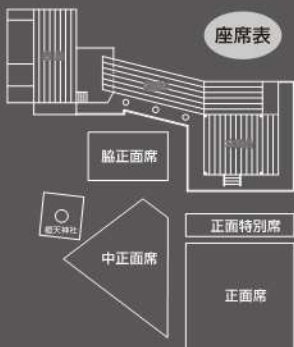
○指定された席のみでの鑑賞となり、お席の移動はご遠慮下さい。○許可のないカメラ・スマートフォンなどによる撮影及び画像、動画の配信は全て禁止となります。○携帯電話・スマートフォンは電源をお切り頂くか、マナーモードなどで、着信音が鳴らないように設定をお願い致します。尚、上演中は、会場内での通話が一切禁止となります。○演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。

YouTube配信!! 第18回「武田の杜薪能」事前講座



YouTube限定の特別映像付き! 視聴は無料です。 4月27日(土)午前10時より配信開始
<https://www.youtube.com/@takedajinja-takiginoh2024>

5月18日開催の武田の杜薪能の見どころ紹介を、実際に能「巴」を演じる佐久間二郎が分かりやすく解説。当日に使用する能面も見られます。また、昨年5月に上演されました武田信玄公がシテ(主役)の新作能『甲陽』の上演映像(ダイジェスト)も特別に限定配信! YouTubeでしか見られない迫力の映像をお楽しみください。



《お問い合わせ・お申し込み》 ※雨天決行:雨天時は、雨合羽のご利用をお願い致します。

武田の杜薪能実行委員会 TEL 055-252-2609
佐久間二郎 TEL 042-316-4860
メール takedanomori.takigino@gmail.com

《交通のご案内》

- ◆JR利用の場合 JR甲府駅 北口 バス停2番よりバス利用で約10分。
山梨交通「武田神社」行又は「積翠寺」行にて乗車下さい。
- ◆自動車利用の場合 中央自動車道 甲府昭和ICより約20分。

※無料駐車場もございますが数に限りがあります。公共交通機関をご利用下さい。

